



とちぎ森林創生ビジョン

～ とちぎの元気な森を100年先の未来へ～


【概要版】



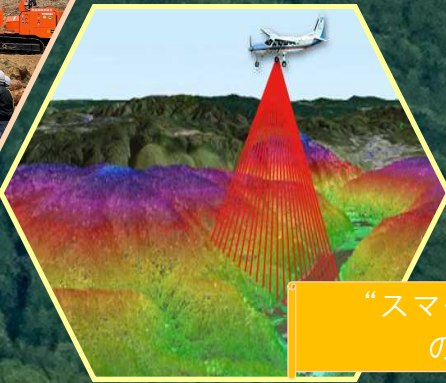
“稼げる林業”
の実現



“災害に強い森づくり”
の推進



“次代を担う人材”
の育成



“スマート林業”
の推進

計画期間：令和3(2021)年度～令和7(2025)年度



令和3(2021)年3月
栃木県

序章 計画策定にあたって

本ビジョンは、戦後植林した本県の森林が本格的な利用期を迎える中、林業・木材産業の成長産業化と森林の公益的機能の持続的な発揮の実現に向け、基本理念や重点的に行う施策を示し、とちぎの森林を元気な姿で未来へと引き継いでいくため策定するものです。

第1章 森林・林業・木材産業をめぐる状況と現状・課題

(成熟した森林資源の更なる活用)

- 戦後植林したスギなどの森林資源が充実し、人工針葉樹林の約7割が、利用期に到来
一方、素材生産量の伸び悩み、川上・川中の原木需給（量、品質、規格）のミスマッチなどに課題

(森林の公益的機能の維持増進)

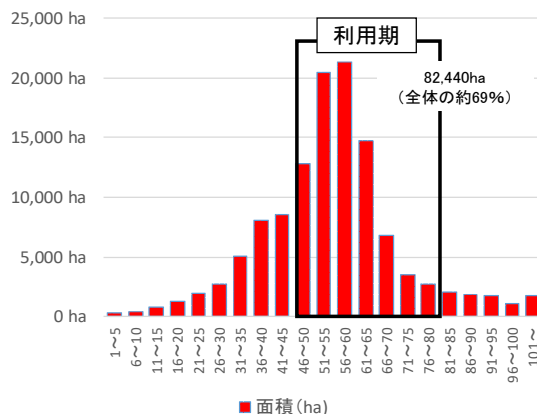
- 気候変動による影響が深刻さを増す中、近年、自然災害が激甚化・頻発化
森林が高齢化する中、森林の公益的機能の維持増進を図るため、災害に強い森づくりが急務となっている

(林業人材の確保・育成)

- とちぎの元気な森づくり県民税による森林の若返りや国の森林経営管理制度の創設により、今後、森林整備量は増大一方で、人口減少社会の中、若者の新規参入など林業人材の確保・育成が課題

(Society5.0時代における未来技術の活用)

- 社会は、未来技術の活用により経済発展と社会的課題の解決を実現する「Society5.0」の時代へ
未来技術の活用により、記憶・経験に頼る林業からの脱却を図っていく必要がある



【栃木県の民有人工針葉樹林の林齢構成】



第2章 ビジョンの基本理念

I 林業・木材産業の成長産業化

→ 全国有数のポテンシャルを有する本県の林業・木材産業が一体となった産業力強化

II 持続可能な森づくり

→ 森林の公益的機能の持続的かつ高度発揮に向けた多様で健全な森づくり

とちぎの元気な森を100年先の未来へ



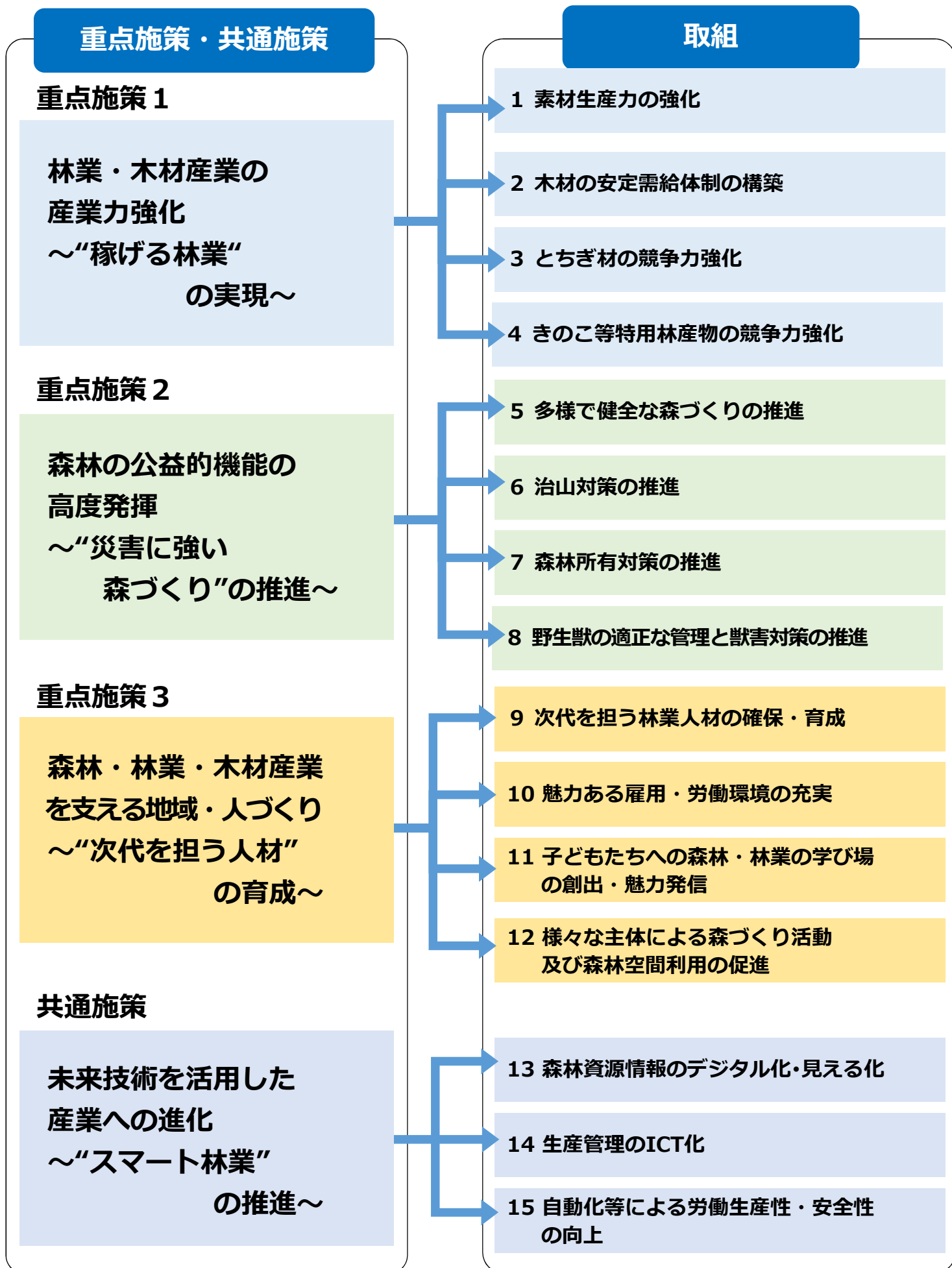
➢ 森林の自然的・社会的条件を踏まえ、「森林資源を循環利用していくゾーン」と「広葉樹林など自然林化していくゾーン」に区分され、多様で健全な森が形成され森林の公益的機能が持続的かつ高度に発揮

➢ 「森林資源の循環利用ゾーン」
需要に応じて「伐る→使う→植える→育てる」というサイクルで持続的な施策を実施

➢ 「自然林化ゾーン」
自然条件に適した樹種が、自然の力で持続的に更新され、生物多様性が保たれ豊かな森林を形成

第3章 重点施策

3つの重点施策と共通施策のもと、15の取組によりビジョンを推進します



重点施策1 林業・木材産業の産業力強化



森林経営にマーケットインの考えを浸透させ、施業・造材・製品づくりの改善、コスト削減を進め、林業・木材産業の産業力強化により、“稼げる林業”の実現を図り、地方創生、中山間地域の活性化を目指します。

取組 1 素材生産力の強化

- 新技術を活用した林業の生産性向上
- 持続的・計画的な林業経営の確立
- 皆伐・再造林等による森林資源の循環利用促進

取組 2 木材の安定需給体制の構築

- 需要に応える製品生産力向上
- 需給ミスマッチ解消による木材流通安定化

取組 3 とちぎ材の競争力強化

- 今後の木材需要を見据えたとちぎ材の用途開発・需要拡大
- 東京圏等をターゲットにした販路拡大
- ハウスメーカー等とちぎ材利用が進んでいない分野への需要創出

取組 4 きのご等特用林産物の競争力強化

- きのご生産力の向上
- 東京圏等への販路拡大
- 安全・安心な取組の推進



“稼げる林業”の実現

【指標】

指標	現状値 R1(2019)	目標値 R7(2025)	目標値 R12(2030)
1 林業産出額 【億円/年】	107.1 H30(2018)	135 R6(2024)	155 R11(2029)
2 素材生産量 【万m ³ /年】	45.3	70	80
3 主伐面積 【ha/年】	302	700	900

指標	現状値	目標値	目標値
4 協定取引量 【万m ³ /年】	3.6	7	10
5 製材品出荷量（国産材）【万m ³ /年】	28.7	35	40
6 人工乾燥材出荷量（国産材）【万m ³ /年】	20.5	25	30
7 きのご生産量 【t/年】	3,905	4,200	4,400

重点施策2 森林の公益的機能の高度発揮



森林の適正な整備・保全による国土の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能の高度発揮に向け、多様で健全な森づくりや治山対策などを進め、県民の安全・安心、県土の強靱化、“災害に強い森づくり”を推進します。

取組 5 多様で健全な森づくりの推進

- 100年先を見据えた森林の若返りの推進
- 適地適木の森づくり及び森林の適正管理の推進
- 森づくりを支える種苗生産体制の強化
- ナラ枯れ等森林病害虫対策の強化

取組 6 治山対策の推進

- 防災・減災のための治山対策の推進（国土強靱化）
- 山地防災に向けたソフト対策の推進
- 水源林等の管理・保全の推進

取組 7 森林所有対策の推進

- 林地の地籍調査の推進
- 森林クラウドシステムの効果的な活用

取組 8 野生獣の適正な管理と獣害対策の推進

- 捕獲・防護・環境整備による総合的な獣害対策の推進
- ICT等デジタル技術を活用した獣害対策の推進



“災害に強い森づくり”の推進

【指標】

指標	現状値 R1(2019)	目標値 R7(2025)	目標値 R12(2030)
8 造林面積 【ha/年】	408	700	900
9 間伐面積 【ha/年】	3,254	3,500	3,500
10 山地災害危険地区の着手箇所数（累計） 【箇所】	-	125	250

指標	現状値 R1(2019)	目標値 R7(2025)	目標値 R12(2030)
11 保安林面積（民有林） 【ha】	80,510	83,500	87,000
12 森林組合による地籍調査面積（累計） 【ha】	278	3,700	4,800
13 野生獣による林業被害額 【億円/年】	1.35	1.1	0.9

重点施策3 森林・林業・木材産業を支える地域・人づくり



森林・林業・木材産業を支える人材の確保・育成・定着のため、新たな人材育成の体制整備や林業就業者を取り巻く環境の改善を図り、林業を魅力ある産業へ押し上げ、“次代を担う人材”を育成していきます。

取組 9 次代を担う林業人材の確保・育成

- 栃木県林業大学校（仮称）の開設による幅広い林業人材の育成
- 自伐林家等の支援
- 林業人材の確保に向けた発信力強化
- “とちぎ材”の利用を支える人材の育成



取組 10 魅力ある雇用・労働環境の充実

- 林業経営体の経営改善に向けた支援
- 魅力ある労働環境の充実
- 労働安全の確保と対策の徹底



取組 11 子どもたちへの森林・林業の学び場の創出・魅力発信

- 木育活動等を通じた学び場の創出
- 学校教育・林業体験を通じた魅力発信



取組 12 様々な主体による森づくり活動及び森林空間利用の促進

- 里山林の保全活動の促進
- NPO・ボランティア等との連携
- 森林空間利用の促進

【指標】

指標	現状値 R1(2019)	目標値 R7(2025)	目標値 R12(2030)
14 新規就業者数 [人/5年]	245	260	275
15 里山林整備面積（第2期県民税事業の新規累計） [ha]	403	1,185	1,502

“次代を担う人材”の育成

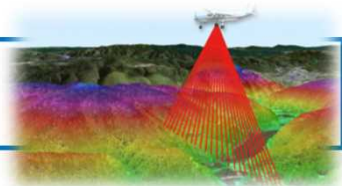
共通施策 未来技術を活用した産業への進化



人口減少や少子高齢化により、新規就業者の確保が困難な中、労働生産性の大幅な向上が急務であるため、記憶や経験に頼る林業から、未来技術活用したスマート林業へと進化を図ります。

取組 13 森林資源情報のデジタル化・見える化

- 航空レーザ計測による森林資源情報の把握
- クラウドシステム等を活用した森林情報の高度利用



取組 14 生産管理のICT化

- ICTの活用による効率的な生産管理・需給マッチングシステムの導入



取組 15 自動化等による労働生産性・安全性の向上

- 施業における自動化技術等の導入による労働生産性の向上
- 未来技術の活用による労働者の安全性向上

【指標】

指標	現状値 R1(2019)	目標値 R7(2025)	目標値 R12(2030)
16 労働生産性（主伐） [m/人日]	10 H30(2018)	30	-
17 労働災害発生率 [%]	21	0	-







※指標はモデル地区内を対象として設定

“スマート林業”の推進

とちぎの元気な森林の姿とSDGsとの関係






重点施策1 林業・木材産業の産業力強化

～“稼げる林業”の実現～

-  エネルギーをみんなにそしてクリーンに
-  働きがいも経済成長も
-  産業と技術革新の基礎をつくろう
-  住み続けられるまちづくりを
-  つくる責任つかう責任
-  陸の豊かさを守ろう

重点施策2 森林の公益的機能の高度発揮

～“災害に強い森づくり”の推進～







-  安全な水とトイレを世界中に
-  住み続けられるまちづくりを
-  気候変動に具体的な対策を
-  海の豊かさを守ろう
-  陸の豊かさを守ろう



重点施策3 森林・林業・木材産業を支える



地域・人づくり

～“次代を担う人材”の育成～

-  質の高い教育をみんなに
-  働きがいも経済成長も
-  産業と技術革新の基礎をつくろう
-  住み続けられるまちづくりを
-  陸の豊かさを守ろう
-  パートナーシップで目標を達成しよう

共通施策 未来技術を活用した産業への進化

～“スマート林業”の推進～

-  働きがいも経済成長も
-  産業と技術革新の基礎をつくろう

SDGsは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための目標」であり、県土の54%を森林が占めている本県においても、林業・木材産業に係る施策を着実に推進していくことが、SDGsの達成につながっていくものと考えられます